

～ More For Vietnam ～ 3年間ありがとうございました



ホーチミン日本商工会議所
会頭 水嶋 恒三

2023年は「日越外交関係樹立50周年」に当たり、JCCHでは前年度より「日越外交関係樹立50周年記念事業特別委員会」を設置し、同委員会が中心となって各種イベントの企画と運営を行って参りました。

主なイベントを紹介しますと、2023年3月から1ヶ月開催したホーチミン市バクダン公園での「イルミネーションパーク」に始まり、8月には計5回実施した「清掃プロジェクト」がスタートしました。10月はサッカーゲーム日越対抗の「Eスポーツ大会」と3000人が参加した「JCCH大運動会」を開催し、12月には「日越友好ソング」の代表者5人が訪日してチン首相の前で「Tomodachi - Tình bạn」を歌いました。

これらは全て会員企業のご協力がなければできなかったことです。会員の皆様、各委員長や役員の方々に心より感謝申し上げます。

一連の50周年事業で私たちが目指したのは、独りよがりにならない、ベトナムの方々に参加して楽しめるイベントです。その期待に応えてくださるよう、イルミネーションパークには数多くの方がご来場くださり、清掃プロジェクトや大運動会では参加者の7～8割がベトナム人、Eスポーツ大会の来場者3500人もほとんどがベトナム人の方々でした。また、日越友好ソングではベトナム全土から800名の子どもたちにご参加頂きました。これらを通じて、日越の友好が更に進んだと実感しております。

日本にはEスポーツを初めとしてベトナム人、その若い方々を惹きつけるカルチャーやコンテンツが数多くあります。これらを通じて日本のプレゼンスを向上させるのも商工会議所の役割の一つであり、それはベトナム政府に対しても同様です。

3年間の在任中、ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルに3回出席して、非常に真摯に話し合える関係を構築できました。ベトナム側には変えられるところは変えていくという積極性があり、1回で解決できなければ再度対話機会を設ける等の姿勢が強くなっています。

ただ、政府や自治体に要望を届けるには、同じ在越日本商工会議所であるJCCI（ハノイ）やJCCID（ダナン）とはもちろん、同じ悩みや課題

を抱える他国の商工会議所との連携が不可欠です。一緒に声を上げる仲間が増えれば、それだけ声が届きやすくなります。

そのため米国、EU、フランス、ドイツ、韓国、台湾などの商工会議所との関係強化を図って参りました。会頭同士で対話をし、その輪を役員レベルに広げ、政府への共同要望も実施しました。端緒に就いたばかりで時間は掛かると思いますが、来年度以降の交流継続を期待しています。

3年前に会頭に就任した際に、「More For Vietnam～ベトナム社会との共生・共創を目指して」というスローガンを掲げました。ベトナム政府との関係強化と共に、ベトナム企業とのビジネスマッチング等で企業間の共生を図り、ベトナム市場に寄与することを狙ったものです。

これから日本企業に求められることは、ベトナムという国を更に成長させるためのエンジンとなることだと思います。当地にはそれだけの力を持つ数多くの日本企業の皆様が進出しておられますし、今後益々増加すると確信しております。同時に、その成長を成しえるためにはベトナムの方々との共生、共創が非常に重要であると考えております。そのためにもJCCHが旗振り役となり、ベトナム企業との橋渡しを積極的に行い、新たな課題が出ればすぐに拾い上げて対応できる組織となる必要があります。

最後に、3年間の任期中は新型コロナの急拡大、その後の経済回復、そして50周年記念事業等、多彩な経験をさせて頂きました。会頭職を無事に全うできたのは、会員企業の皆様、一緒にお力添えを頂いた役員や理事の皆様、事務局スタッフの皆様のおかげであり、感謝の念に堪えません。

ベトナムでの事業展開において様々なご苦労があると思いますが、当地にはこれだけ多くの日本企業が進出し、日本のプレゼンスも一定あり、今後もベトナムが日本にとって非常に重要な国であることは変わりません。こうしたアドバンテージを生かし、2024年度が皆様にとって更なる飛躍の年となることを心から願っております。3年間、本当にお世話になりありがとうございました。